

新生涯学習施設(仮称)についての青梅市生涯学習推進市民会議委員意見

1 新しい施設に盛り込むべき部屋等の機能は、何を盛り込むべきだと考えますか。

多目的室を多くする(机・椅子等は移動式)。
床はフローリング・じゅうたん・弾力性のある床がよい。

今後の人口動態を考えつつ、世代ニーズに応じて機能を盛り込むべき、児童館機能をもたせるとともに、幼児・児童と高齢者が関わることのできるスペースやイベントなどを行うことができるとよい。
学校支援地域本部を置くことのできる場、集える場でありたい。
子育て支援センターを設けたい。

これからは、子どもの療育と高齢者の充実した生活だと思う。
・保育室(子育て相談、発達障害の相談)
・防音設備のある音楽室、陶芸教室、木工教室、調理室、和室など
・高齢者の転倒予防教室など体操ができる部屋、認知症予防教室など学習活動ができる部屋

冷暖房(通年)、完全防音の部屋2室以上、車イス利用可、スロープ等完備

キッズルームは「ある」だけではなく、使い方も考えて造らないと無駄なスペースになってしまう。
雨の日でもそこに行けば、のびのび遊べる広い部屋になるとよいと思う。
また、体育館ほどでなくても、市民がゆったり身体を伸ばしたり、ヨガ等ができるように床材を工夫した部屋があると使いやすいと思う。

会議室、鏡のある部屋2室、防音室等、青梅市の多くの団体が1度に皆で使えるように作ってもらいたい。
また、駐車場は確保していただきたい。

子育てサポート広場、図書館(学習室含む)、和室の数の増、料理教室、音楽室(防音機能)、陶芸、駐車場(増)、避難場所としての機能

子供から年齢を重ねた人まで市民の生涯にわたる学習活動の場として、地域のコミュニティの形成を創る場となるようなもの。生涯学習センターとしての場としての機能。

市民ニーズに加え、市全体の施設配置を俯瞰した上で、施設として、何を設置するのかを検討願いたい。

人口減少傾向にある中で、子育て支援を重視し、若年家族に対応する施設を求めたい。
どの世代に応ずるニーズに対するものかを勘案して設置願いたい。

大きなホールがなくなった場所に鏡のある部屋は作っていただきたい。

小ホールは必要である。

発表の場を求めている市内のサークルがたくさんある。新市民ホールまたは新生涯学習施設内に中・小規模のホールを作っていただきたい。
また、中・小ホールは、客席数を増やすのではなく、舞台スペースに重点を置き、キッズダンス等大勢での発表も可能になると利用数も増えると思う。

ちょっとした発表の場としても使用可能な100人位収容できる収納式のステージもある小さなホールがあった方がよい。

2 新しい施設ができた場合、利用する団体、地域においてどのような影響が出ると考えますか。

各団体の交流の場となる。常に発表会等ができる。

一時的に利用団体が減り、施設がなくなった地域の活動が減ると思う。

0歳から100歳までの市民が利用することを仮定し、また、多種の文化団体が活動する場として、1日の利用度が高くなるため、混雑が予想される。周辺道路のスムーズ化を図るには、駐車場の整備が必要である。

4施設を集約した場合、青梅市民センター利用者には問題ないかもしれないが、少し離れている永山・釜の淵の利用団体のうち、活動を中止せざるを得ないサークルも出てくると思う。

夜間など利用が殺到して予約が取れない団体が出てくるのではないかとと思う。その場合には、平等に割り振りしていただきたい。駐車場も市民センター、天ヶ瀬臨時駐車場を利用できたらと思う。

<p>利用する団体の利便性の悪さと利用混雑度が増すのではないか。</p>
<p>大きな施設を1つ作るより、小さな施設をいくつか作る方が、地域住民の交流の場になると思う。高齢化社会で外出や活動量が減ることが予想される。</p>
<p>利便性のあるセンター等があることでコミュニティー活動が活発にできているので、拠点の減少が市民交流の低下を招いてしまうのではないか。市民サービスの低下につながるのではないかと心配。</p>
<p>3 その他、新しい施設に対して、ご意見がありましたら自由にお願ひします。</p>
<p>市民会館という旧来の発想を脱し、部分的に目的を限定して民間に貸し出し、新たなニーズを呼びこむ。 (例) 他市から来る青梅マラソン向け“ランナーズステーション”的な施設を置く。近くにコンビニがないので小さなコンビニを置く。その中で青梅名産品や障がい者の作品を販売する。</p>
<p>個人的には一極集中型は好きではないが、最新の機能を持つであろう複合施設は快適なはず。多くの市民は待ち望んでいる。建設実行委員会が発足するならば、参加してみたいと思う。</p>
<p>生涯学習のいろいろな企画をある程度コンスタントに市民に提供するためには、新生涯学習施設のようなところに専用の事務所を置き、市民からもアイデアをもらって講座を作っていくことが必要。青梅市の生涯学習の発展のためにも、新しい施設を活用できるとよい。</p>
<p>徒歩で市民会館に通っている方も多く、場所が変わったら行けなくなり、活動をあきらめなければならない。 特に、高齢者にとっては、新施設ができるまでの数年はとても長い。</p>
<p>青梅市は地域によって交通の便が悪く、中央にすばらしい施設ができてもらうように参加できない人も多いと思う。 近隣の市民センター、また、学校の空き教室等を利用していろいろな場、体験ができるようになればと思う。</p>
<p>4 施設を集約し、情報の起点となる生涯学習センターとしたい。</p>
<p>近隣の市町村の手本となるような複合施設を早期に完成してほしい。</p>
<p>新施設の建設は、市民の安全を考えれば良いことだと思う。民間の知恵、力も活用し、青梅駅周辺の活性化にもなればよい。 車の利用が多いと思うので、駐車場を充実させてほしい。</p>
<p>現市民会館を閉鎖するあいだ、他の施設をどの団体も平等に使えるように配慮が必要である。</p>
<p>民間ノウハウを採り入れ、指定管理者、ネーミングライツ等により、コスト削減を図りたい。</p>
<p>現市民会館を取り壊してから新しい施設ができるまで、民間・学校等の施設を活用する。</p>
<p>現市民会館を閉鎖してから新しい施設ができるまで、他の3施設だけでなく、近隣のセンターでも部屋の確保が難しくなると思う。その間、「新しい施設ができるまで」と不便を我慢していた市民がっかりしないような充実した施設を望む。</p>
<p>大きなホールができるまでのあいだ、文化団体が1年間の成果を発表する文化祭ができるように、羽村市の生涯学習センターゆとろぎ、あきる野市の秋川キララホール等の借用に配慮していただきたい。</p>
<p>現市民会館を利用していた人たちは、新しい施設ができるまで困ると思うので、近隣の施設が使えるように配慮してほしい。</p>